



発表項目 (行事名)	ほっかいどう未来チャレンジ基金 「みらチャレ通信」Vol. 46の発行について																										
概要	<p>北海道の未来を担う若者達の海外挑戦を応援するため、平成28年12月に創設した「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。この基金により海外に留学した方々の活動状況などをお伝えする広報紙「みらチャレ通信」Vol. 46を発行しました。</p> <p>■掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度みらチャレ第6期生の募集を開始します！ ・みらチャレ4期生（文化芸術コース）北浦 由花里さんの留学成果報告会を開催しました。 ・日糧製パン様との連携企画「ほっかいどうの未来にラブを贈ろう」が実施されました。 ・留学生たちの活動状況（学生留学コース） <table border="1" data-bbox="300 952 1430 1323"> <tr> <td>上野 瞭子 (北海道大学)</td> <td>フランス</td> <td>2022.9月 ～2023.6月</td> <td>海外進出をサポートできる弁護士を目指す</td> </tr> <tr> <td>酒井 友希 (札幌大学)</td> <td>フィンランド</td> <td>2022.8月 ～2023.5月</td> <td>自然ツーリズムにおける観光システムを学ぶ</td> </tr> <tr> <td>幡谷 省悟 (北海道大学)</td> <td>アメリカ</td> <td>2022.11月 ～2023.3月</td> <td>一次産業発展のためアメリカの農業生産を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>藤原 香夏 (北海道教育大学)</td> <td>カナダ</td> <td>2023.1月 ～2023.12月</td> <td>観光発展のためのスポーツツーリズムを学ぶ</td> </tr> <tr> <td>大久保 辰哉 (小樽商科大学)</td> <td>オーストラリア</td> <td>2022.9月 ～2022.12月</td> <td>子供向けスポーツプログラムの運営方法を学ぶ</td> </tr> </table> <p>(スポーツコース)</p> <table border="1" data-bbox="300 1355 1430 1467"> <tr> <td>太田 ゆき菜 (HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS)</td> <td>アメリカ・カナダ</td> <td>2022.8月 ～2023.7月</td> <td>パラスポーツ発展に向け、スポーツと医療の連携、国際レベルのクラス分けを学ぶ</td> </tr> </table> <p>■主な配付先 応援パートナー（企業、団体等）、道内大学等 ※基金ホームページにも掲載しています。</p>			上野 瞭子 (北海道大学)	フランス	2022.9月 ～2023.6月	海外進出をサポートできる弁護士を目指す	酒井 友希 (札幌大学)	フィンランド	2022.8月 ～2023.5月	自然ツーリズムにおける観光システムを学ぶ	幡谷 省悟 (北海道大学)	アメリカ	2022.11月 ～2023.3月	一次産業発展のためアメリカの農業生産を学ぶ	藤原 香夏 (北海道教育大学)	カナダ	2023.1月 ～2023.12月	観光発展のためのスポーツツーリズムを学ぶ	大久保 辰哉 (小樽商科大学)	オーストラリア	2022.9月 ～2022.12月	子供向けスポーツプログラムの運営方法を学ぶ	太田 ゆき菜 (HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS)	アメリカ・カナダ	2022.8月 ～2023.7月	パラスポーツ発展に向け、スポーツと医療の連携、国際レベルのクラス分けを学ぶ
上野 瞭子 (北海道大学)	フランス	2022.9月 ～2023.6月	海外進出をサポートできる弁護士を目指す																								
酒井 友希 (札幌大学)	フィンランド	2022.8月 ～2023.5月	自然ツーリズムにおける観光システムを学ぶ																								
幡谷 省悟 (北海道大学)	アメリカ	2022.11月 ～2023.3月	一次産業発展のためアメリカの農業生産を学ぶ																								
藤原 香夏 (北海道教育大学)	カナダ	2023.1月 ～2023.12月	観光発展のためのスポーツツーリズムを学ぶ																								
大久保 辰哉 (小樽商科大学)	オーストラリア	2022.9月 ～2022.12月	子供向けスポーツプログラムの運営方法を学ぶ																								
太田 ゆき菜 (HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS)	アメリカ・カナダ	2022.8月 ～2023.7月	パラスポーツ発展に向け、スポーツと医療の連携、国際レベルのクラス分けを学ぶ																								
参考	ほっかいどう未来チャレンジ基金 公式Facebook「みらチャレ」 https://facebook.com/mirachalle/ みらチャレに関する様々な情報を掲載しています。  公式Facebookページ みらチャレ 																										
報道(取材)に当たってのお願い	助成対象者の海外留学の状況を情報発信することにより、道内の若者の海外挑戦に向けた機運醸成と、寄附などオール北海道での応援体制の構築を図っていききたいので、積極的な報道にご協力よろしく申し上げます。																										
他のクラブとの関係	同時配付 (場所) 同時レク																										
担当(連絡先)	総合政策部地域創生局地域政策課 山田、長谷部 電話：ダイヤルイン 011-206-7380 (内線 21-158)																										

学生留学コース

第5期生 上野 瞭子さん 【留学先】 フランス 【留学期間】 2022年9月～2023年6月（10か月間）

北海道経済の活性化を実現するため、海外進出をサポートできる弁護士を目指す

2月は、日本の文化を伝えるため、留学生の友人と節分の行事を行いました。この行事を通して、自身もその文化に対する理解を深めることができました。また、在仏日本人の弁護士の方と対談をしました。日仏間で法務の進め方が違うなど、その内容はとても興味深く、文化の違いを理解しつつ、自身の役割を達成することの難しさを知りました。

レンヌ政治学院での講義も残り1ヶ月となりました。ここでの講義の内容をできるだけ吸収できるように残りの研修も頑張っていきたいと思えます。

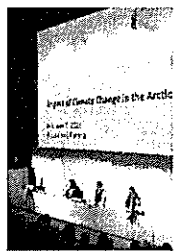


第5期生 酒井 友希さん 【留学先】 フィンランド 【留学期間】 2022年8月～2023年5月（10か月間）

環境に優しい観光を実現するため、自然ツーリズムにおける観光システムを学ぶ

大学の案内で“Impact of Climate Change in the Arctic”という講演会に参加しました。

講演会のポイントは、フィンランドとカナダの親交と北極の国としての気候変動の抑制の協力についてです。フィンランド人だけではなく私を含む多くの留学生も参加しており、1時間の講演会で気候変動の解決の行動策についてまでは深く取り上げられなかったという印象を友達と二人で持ちました。ただ、この講演会にはフィンランドの大統領やカナダの総督が登場しており、そのようなイベントに留学生を含めた幅広い人々がカジュアルに参加できるのは非常に良いと思いました。



第5期生 幡谷 省悟さん 【留学先】 アメリカ 【留学期間】 2022年11月～2023年3月（4か月間）

北海道の一次産業発展に貢献するため、アメリカの農業生産を学ぶ

現在、植物の窒素代謝の解明を目的とした研究を行っています。

今月はモデル植物であるシロイヌナズナと大腸菌のアミノ基転移酵素を対象に網羅的な酵素機能解析を行いました。指導者であるKoper博士から助言をもらうこともありますが、基本的には独立して実験できるようになってきました。

3月に帰国するというので留学期間も残り少なくなり焦りもありますが、可能な限り多くのことを学んで帰国できるように、引き続き研究を頑張っています。



第5期生 藤原 香夏さん 【留学先】 カナダ 【留学期間】 2023年1月～2023年12月（12か月間）

スポーツによる観光の発展と道民の生活の質の向上を図るため、カナダでスポーツツーリズムを学ぶ

エドモントンで30年以上の歴史がある「Silver Skate Festival」というお祭りを視察しました。

印象的だったのはお祭りの種目の一つであるトライアスロンです。このレースは親子で楽しむことができます。子供が幼少期から冬の屋外活動に参加することで冬や雪への抵抗感やマイナスのイメージを持つことが少なくなり、1年を通じて活動的な子供が増えていくことに繋がるのではないかと感じました。帰国後には留学中に視察した様々な「スポーツ」、「遊ぶ」を参考に大学のプロジェクトに参加していきたいと考えています。



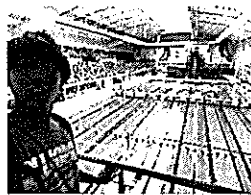
第4期生 大久保 辰哉さん 【留学先】 オーストラリア 【留学期間】 2022年9月～2022年12月（4か月間）

スポーツで北海道の子供を元気に、北海道全体の活性化へつなげる

メルボルン最大の総合スポーツ施設である「メルボルンスポーツセンター」を見学しました。

この施設は、多種多様なスポーツを一般人からプロ選手まで利用しています。このような巨大スポーツ施設を気軽に利用できたり、プロ選手たちが使用することで、地域住民がスポーツをより身近に感じられ、スポーツを楽しむ人口が多くなるのではないかと感じました。

また、施設内外には、ボートや遊具、お洒落なレストランなどスポーツ以外に子供や大人が楽しめる場所があり、自分が未来で想定する施設のイメージを膨らませることができました。



第5期生 太田 ゆき菜さん 【留学先】 アメリカ・カナダ 【留学期間】 2022年8月～2023年7月（1年間）

パラスポーツの発展に向け、スポーツと医療の連携、国際レベルのクラス分けを学ぶ

車椅子バスケットボールチームの大会にベンチスタッフとして参加しました。ぶつかりながらも信頼関係を築きあげていく様子を間近で見ることができ、私にとって大きな経験となっています。その試合のセレモニーでサプライズで花をもらいました。アメリカのカレッジスポーツはファミリーとしてチームメイトやスタッフを大切にしており、私もその一員として一緒に戦うことができたおかげで、スポーツが持つ魅力や人生に与える大きな影響を再認識しました。障がいがあってもスポーツ活動を経験できる機会に巡りあえるように活動していきたいという想いがより強くなりました。

